

平成22年度 家庭教育学級 公開講座

「シンナーで失ったもの・学んだこと ～私の歩いた道～」

現在、佐賀県立盲学校で教師をしている牟田征二さん。あんまマッサージや鍼灸の専門職で生徒の自立を目指す理療科を担当、忙しい毎日を送っている。

牟田さんは全盲者だが、もともと目が見えなかったわけではない。18歳の秋、一夜にして視力を失った。原因はシンナー。中学生から生活が荒れた。非行を繰り返し、施設をいったりきたりする生活。そんな中で仲間と共にはまったのがシンナーだった。

薬物の中でもシンナーは入手しやすく、中高生に最も乱用されている薬物だ。幻覚を起し、脳や神経細胞を死滅させ、歯を溶かして骨まで蝕んでいく。薬物乱用のきっかけは友人や先輩、恋人などからの「1度くらい使っても大丈夫」などという誘いと自らの好奇心がほとんどである。

荒れた生活をしていた18歳のある日、なんの前触れもなく突然視力を失った。

失明し、シンナーをやめて心が落ち着いてくると、周囲の思いやりが見え、自分の人生を考えるようになった。猛勉強の末、教師として母校に戻り、現在は生徒たちの自立に生きがいを見出す牟田さん。さらに、薬物の本当の怖さを知って欲しいと、自らの過去を若者達に訴える活動を精力的に行なっている。

牟田さんの体験を通して、シンナーの怖さについて、一緒に考えませんか。

小中学生・高校生以上の学生の方の参加もお待ちしております。



講師 牟田 征二 さん



《講師プロフィール》

14歳の冬、仲間に進められてシンナーを吸い始める。

18歳の秋、一夜にして視力を失う。翌春、佐賀県立盲学校に入学。

22歳、佐賀県立盲学校普通科卒業。同専攻科理療学科に進学。

25歳、あん摩・鍼灸の国家資格を取得。筑波大学理療科教員養成施設に進学。

卒業後、佐賀県立盲学校理療科教諭となり現在に至る。プライベートでは、2人の息子の父親でもある。

日時 8月7日(土)／午前10時～正午（受付午前9時30分～）

会場 小郡市生涯学習センター ギャラリー

対象 この講演会に興味がある人、どなたでもご参加いただけます。
当日参加も受け付けます。直接会場にお越しください。

参加費 無料

託児 託児（生後4か月以上）を希望される人は、7月20日(火)までに、ご連絡先を明記の上、生涯学習課に申し込みください。

（託児定員：先着10人…子ども1人につき200円）

【申込・問い合わせ先】 生涯学習課 学習・文化係
☎72-2111 内線523 ファクス73-5222